



港区立中之町幼稚園 10月 園だより

教育目標

- げんきな子
- かんがえる子
- なかよくする子
- かんばる子



令和2年9月29日
港区立中之町幼稚園
園長 大橋 美都子

<http://nakanochi-kg.minato-kyo.ed.jp>

「待つ」= 信じて見守り任せること

園長 大橋 美都子

残暑から一転、ずいぶん秋らしくなってきました。お弁当も始まり、徐々に通常の保育に戻りつつあります。園庭で、存分に体が動かして遊ぶことを楽しめるようにしていきたいと思います。

さて、みなさんはお子さんが何かをやりようとしている時、その行動が待てますか？ それとも、つい手や口を出してしまいがちですか？ そんなに悠長に待っている余裕はない、わが子の行動が遅くイライラしてしまう、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかしながら、子どもがやりようとしていることを先回りしてしまったり、答えを出してしまったりしては、子ども自身が考えたり工夫したりする機会を奪っていることになってしまいます。また、子どもが自分でやったという達成感を感じたり、自信をつけたりする機会を失っていることになりかねません。

なぜ「待てない」のでしょうか。一つの原因として、「待つ」とは「我慢する」ことだととらえていませんか？ 「待つ」とは、この子はきっとできるはず、と信じて見守り、任せることです。

もちろん、何が何でもかたくなに待つわけではありません。明らかに自分ではどうしようもなく、困っているような時には待たずに手を差し伸べる必要があります。そのためには、わが子は何かができるのか、何が苦手で不安を感じるのか、困っているサインを出しているのか、などお子さんの表情や様子を普段からよく見る必要があります。

「待てない」理由のもう一つ、大人の都合に子どもを付き合わせてはいませんか？ 子どもの行動が遅く、時間に間に合わない、結果、予定を変えなくてはいけないというストレスからイライラして待てない、となるのです。誰かの予定に合わせて動く、ということは子どもにとってはとても高度なことです。わが子のペースならどれくらい時間がかかるのかを考え逆算して声をかけたり、「～したいから○までに家を出たい、そのためには○になったら着替えるよ」などときちんと説明したりすることも大切です。そうすることで少しでも大人がイライラすることが減っていくのではと思います。

わが子はこれだけのことができる子だ、と信頼して待てる大人になりましょう!!

幼稚園タイムスリップ



昭和初期のお遊戯：ウサギのダンスかな？

★体を動かして楽しんでいます★



ハルーンと格闘中



小回りの技術も必要です



電車が発車しま～す